

6年「この胸の痛みを」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう 1文で表します
 - 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問い合わせを入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
 - 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
 - つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方を広げ、展開後段の問い合わせを多角的な視野から考えることができるようする
 - 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
 - 道徳的価値の「在り方」「見方・考え方」「意味」「なぜ大切なのか」「よさ」「態度・意欲」の観点で考えさせる
 - つなぎ発問②**…主題発問で考えたことと、子どもの生活とをつなぐような話を入れる。そして、自分との関わりで、振り返りを行うことができるよう、道徳的価値を入れた振り返りの観点を説明する
 - 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
 - 学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりして振り返る
- 振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる
- 「皆さんの考え方や行動は、もっとよくなります。そのために振り返りましょう」
- まず、今日の学習から、学んだこと・分かったことを書きましょう

そして、次のことについて書きましょう

 - ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
 - ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
 - ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
 - ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※この中から、先生がいくつか指定して書かせる、または、子どもが自分で選んで書かせます

※振り返りの4観点を取り入れて、低中高学年別、またABCD別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	心を広げよう	理解し合う姿を想像しよう	
導入	今日は、第8回「この胸の痛みを」です。「22のとびら」の「11番」「広い心で理解し合う」です。「道徳みちあんない」では、○△?のどれを付けていますか	今日は、第8回「この胸の痛みを」です。「22のとびら」の「11番」「広い心で理解し合う」です。「道徳みちあんない」では、○△?のどれを付けていますか	
展開前段	○由希の話を聞いて、「私」は、どんなことを思ったでしょう ○朝実の話を聞いて、「私」は、どんなことを思っていたでしょう	○朝実と由希が仲よく遊んでいるのを見て、「私」は、どんなことを思ったでしょう ○由希を無視している間、「私」は、どんなことを思っていた	

	○一人寂しそうにしている由希を見て、「私」は、どんなことを思ったでしょう	でしょう ○一人寂しそうにしている由希を見て、「私」は、どんなことを思ったでしょう	
つなぎ発問①	○「私」は、どうして、由希を赦せなかつたのでしょうか ○「私」は、どのように考えると、由希を赦すことができたのでしょうか ○学校生活の中で、赦すことができること、できないことは、どんなことでしょう	○「私」は、朝実のことを、どのように思いこんでいたのでしょうか ○「私」は、由希のことを、どのように思いこんでいたのでしょうか ○思い込みは、なぜ、よくないのでしょうか	
展開後段	どんなことを考えると、自分の心が広がっていくのでしょうか	互いに理解し合うようになると、どんな友達（関係）になるのでしょうか	
つなぎ発問②	以前に比べて、自分の心を広がってきているなと感じることはありますか。これからも、ますます広がっていくとよいですね	そのようになると、一段とよい友達になれるように思います。そんな友達を多く作りたいですね	
	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか ・①のことで、もうすでに、できているよ（やっているよ）ということはどんなことですか ・①のことをもとに、これから、やっていきたいことはどんなことですか <p>では、振り返りを書きましょう</p>		

振り返り

※「○△？」は、第1回「道徳が始まるよ」で「道徳みちあんない」に書き込んだものです